令和３年度 山梨県立白根高等学校

第１回 学校運営協議会 議事録

（※個人情報の特定につながるような記述は削除しています。）

第１回学校運営協議会

１　開会のことば（教頭）

２　校長あいさつ

コロナ禍のなかですが、入学式については、ほぼ通常通りに開催することができました。そのほかの行事についても、感染防止に努めながら開催をしています。

本校はもともと地域との関わりの深い学校として、交流活動を実施してきました。今年度もコロナの影響が残るところではありますが、地域の皆様と一体となって学校運営に取り組んでいきたいと考えています。

なお、１１名中６名が新メンバーということもあり、今回は顔合わせ、兼本校のご紹介の位置づけで考えております。また、本運営協議会の発足をもちまして、学校評議員会はなくなりました。

３　委員自己紹介

４　役員選出

川野会長、金丸副会長 →承認 議長は川野会長

＜議事＞

１．学校運営協議会 規約の確認（教頭より説明）

・第１２条について、次回以降、周知に努めるようにする

・第１１条について、次回以降傍聴席を設けるか否か、会長と協議する

→承認

・次回以降の協議会は、６月１６日（水）、１１月１８日（木）、２月１５日（火）の開催予定。白根祭に委員の皆様をお招きできるかどうか、桃源文化ホールの収容人数の関係で、検討をさせていただきたい。

２．本校の現状と課題について（教務主任より説明）
①入試状況
②人員について
③部活動の活性化
④コロナ禍での対応について
⑤「文理コース」の在り方
以上をふまえた上で、本校の課題を説明

３．令和２年度学校評議員学校評価について（教頭より説明）→別紙のとおり

４．令和３年度学校運営方針・学校指導重点目標について（校長より）
→承認

５．意見交換・懇談

委員１：　教職員数が少ないことが一番の課題。２７名というのは、公立中よりも少ない。教職員を増やすことが、教育の充実につながる。

委員２：　本当は、もっと少人数での授業展開ができることが望ましい。とはいえ、教員数が２７名という現状では難しい。しっかり学校の方針を県に伝え、また授業研究を進めてほしい。
（質問）白根は人気校となっているが、中学生の志望動機については、何か調査のようなものをしたことがあるか。
教務主任：入学生に話をきいたところ、オープンスクール等で、明るい雰囲気を感じたことがきっかけとなった、と言っていた。生徒数が少ないからこそ、今まであまり目立たたなかった生徒が委員長になる等、生徒にスポットライトが当たりやすくなっていると思われる。
委員２：　小さい学校も、見方を変えればチャンスになる。
（質問）教育のデジタル化が進んでいると聞いているが、授業の中でタブレット等は使っているか。

校長　：　全県下の高校で秋以降、全校生徒の１／３本校でいうと１３０台のタブレットがくることになっている。また来年度入学生からは、全員にタブレットを購入させる方針となっている。数学では ICT の教材を共有しているが、そのほかの教科でも強力に推進していく方針。

教頭　：　ベネッセの Classi というアプリも導入し、準備を進めている。

委員３：　数十年ぶりに教育現場を見させていただいたが、とてもワクワクした。機会があれば、一度ゆっくり授業参観させていただきたい。少しの時間ではあったが、見る限り、生徒も落ち着いて授業に取り組んでいた。

教頭　：　５月から、管理職が授業参観することになっている。委員の皆様も、いつでも来ていただければご案内いたします。

委員４：　同窓会として、学校に来る機会が多いが、やはり先生方の数が少ない、先生方の負担が大きいことを感じている。教員数が少ないため、同じ公立校の生徒なのに、部活動への取り組みに差が出てしまうことがかわいそうだと感じる。また、校舎の老朽化がどうしても目に付く。学習環境も生徒たちに大きな影響を与えると思うので、どうにかできないか。

生徒はとてもまじめで、よく挨拶もしてくれる。先輩たちが、「女子にやさしい学校」と言っていたことも、女子の志願者が増えた原因の１つだと考えられる。さらに、前校長が、白根高校をよくブランディングしてくれたと感じている。

委員５：　小学校、中学校でも、先生方の人数が少ないことで大変苦労している。昨年、〇〇中で３学年の進路主事をしていた。県内のほとんどの学校へ足を運んだが、白根は県内で２番目に挨拶の状況がよかった。（ちなみに１番よかったのは航空高校）生徒がとても明るく、のびのびしている。白根高校の「売り」は、学校の雰囲気だと思うので、学校説明会についても、学校で実施してもよいのではないか。

余談だが、白根東小学校は、１８０年以上続いている学校。天保の飢饉の折に地域住民の声によって設立され、松聲堂と名乗っていた。地域のこういった流れを汲み、教育による人づくりが白根高校のベースにあるのではないか。

委員６；　（質問）インターンシップの受け入れについて、進捗状況はいかがか。

教頭　：　一昨年通りとはいかないと思うが、進路を中心に打診をしている状況。現在のところ、インターンシップは実施予定。

校長　：　　普通科高校で全員インターンシップを実施しているのは、山梨高校と白根高校のみ。大切にしていきたい。

委員６　：　（質問）Classi について、学校内でスマホの利用は制限されているが、そのあたりの整合性はどうか

教務主任：導入段階なので、１学期は様子を見ていく。まだ連絡ツールとしてのみ使用しているような状況なので、本格的に学習ツールとして使用できるようになったら、使わせ方を考えていきたい。朝活での英単語のテストや放課後学習で利用させることも検討中。また、フリーWi-Fi の導入についても考えている。

委員７　：　課題は、やはり教員数の不足。先生方は残業が多すぎる。職員室、体育教官室、最近では事務室も毎日大変遅いようだ。

生徒はとてもよくなっていると感じている。

一方、どうしても部活動の力不足が目立つ。そのなかでも、ウェイトリフティング部がよく頑張っている。全国大会ベスト３以上に入れば、新しく碑を作ることになっている。ぜひ頑張ってもらいたい。

同窓会としては、学校存続についてとても心配していたが、今後も明るいよりよい学校づくりを目指していきたい。

５　諸連絡（教頭より）

次回は学園祭一日目の後、桃源文化会館の会議室で実施予定

６　閉会のことば（教頭）

令和３年９月２日

山梨県立白根高等学校 学校運営協議会委員 各位

山梨県立白根高等学校 学校運営協議会
会 長　川 野 健 一 郎

令和３年度 第２回白根高等学校学校運営協議会

（書面決議）について

８月１１日付で送付しました第２回学校運営協議会（コミュニティ・スクール会議）紙上開催(書面による決議)につきましては、委員全員の賛成承認が取れましたので、議案を可決とさせていただきます。

令和３年９月２日　　白根高等学校 学校運営協議会　会長 川野 健一郎

令和３年度山梨県立白根高等学校

第２回学校運営協議会(コミュニティ・スクール会議)

第１号議案）山梨県立学校 学校評価システムと学校評価について

表 決　全員賛成
修正案その他意見等 特になし

第２号議案）白根高校人材バンク「しらねっとわーく」について

表 決　全員賛成
修正案その他意見等 特になし

第３号議案)「その他」について　　意見等

特になし

令和３年度 山梨県立白根高等学校

第３回 学校運営協議会 議事録

１　開会のことば（教頭）

２　校長あいさつ

日頃より、本校教育活動へのご協力、ありがとうございます。実質的には第２回の協議会となります。コロナ禍のため、たびたびの予定変更、申し訳ありません。

学校の概況について、現在１年生１３０名、２年生１２７名、３年生１１９名の、計３７６名が本校で学んでいます。来年度の定員についても、現行の１３０名のままです。

部活動の実績について、総体から関東大会へ進んだのが、ウェイトリフティング部と陸上部です。ウェイトについては、２年の金丸君が関東大会で優勝、小林君がインターハイへ出場しました。また陸上部では３年の村松さんが関東大会へ出場しました。

学校行事につきまして、６月には無観客で白根祭を実施しました。全クラスでＴシャツを作り、ペンライトで応援する、ストンプを取り入れるなど、新しい取り組みの中で新しい伝統が生まれた。夏休みには「まん延防止等重点措置」のために課外、学習会ともに実施できず、始業式は在宅での実施となりました。その後２週間の分散登校を実施しました。学校説明会、オープンスクールも中止となり、ユーチューブ上で動画配信をしました。そのようななか、１１月１３日に、やっとスクールツアーを実施することができました。なお、本日は、ツアーに参加できなかった八田中の生徒さんが来校しています。

１０月８日に体育祭を実施し、新人戦も順調に開催されました。成績としては、男子バレー部がベスト５に入りました。またウェイトが、創部以来初めてとなる団体優勝を成し遂げました。男子ホッケー部も関東大会で１勝を挙げ、あと１勝すれば全国大会、というところまでせまりました。

創立記念式典では、芸術鑑賞会（演劇）を実施しました。多くの生徒が関心をもって鑑賞していました。

先週の修学旅行は福島、日光へ行ってきました。感染症対策を十分にしたうえで実施したこともあり、３日間発熱者は１人も出ることなく全員健康で帰ってこられました。１日目は主に震災の学習をし、周辺の街々がいまだに復興していない状況を生徒は目の当たりにして

きました。２日目はタクシー行動で、鶴ヶ城や猪苗代湖周辺を回りました。紅葉が素晴らしかったです。最終日は大雨の中、東武ワールドスクウェアや日光東照宮を訪れました。

３年生の進路決定状況について、就職者は７名が内定し、大学など進学先への合格も日々増えています。 学校施設について、これまでに手洗い場の自動水洗化、ボイラーの工事、校長室の床の補修、ホッケー場の散水機の修理が実施されました。

本日の授業見学でご指摘があった通り、授業中はドアや窓を開けて感染症対策をしています。CO2 チェッカーも利用しています。

第２回の協議会（書面）で認めていただいた「しらねっとわーく」については、会長様に登録者第１号になっていただきました。皆様にもご協力をいただければありがたいです。

本日は、スクールミッションやスクールポリシーについてもご意見をお願いいたします。

３ 教育活動報告（学校側説明）

１　学習支援グループ（資料Ｐ８参照）

１　本年度中学校卒業予定者第１次進路希望調査について

白根高校は０．６７倍で、昨年度に比べて苦戦を強いられているが、今後の伸びに期待したい。

２　生徒支援グループ（資料Ｐ１～３参照）

１　部活動の状況

部活動については、男子の入部状況が厳しい。一方、納め式で多くの部がその成果を披露することができた。支援を要する生徒については、スクールカウンセラーを活用しながら学校全体として対応に当たっている。

３　進路支援グループ（資料Ｐ３～４参照）

１　令和３年度３学年進路希望

２　令和３年度３学年延べ出願状況及び受験形態

先日自衛隊に１名が合格した。現在、計５６名の進路が決定している。

４　学校管理グループ（資料Ｐ４～５参照）

１　就学支援金受給者および就学給付金申請者について
就学給付金申請者（家計の厳しい生徒）は例年１０名程度だが、今年度は３０名以上が申請している（コロナの影響か）

２　学校施設・設備の改善について

３　３ PTA 活動及び地域との連携

４　令和３年度 PTA 事業計画　白根祭で実施しているおやじ焼きそばについては中止となってしまった。来週、開放講座でクリスマスケーキ作り、土曜にはペンキ塗りが実施予定。

５　生徒指導グループ（資料Ｐ５参照）

生徒指導の状況について。昨年度実施した LGBT 講演会は、今年は予定なし。

６　情報管理グループ（資料 P5 参照）

広報活動について。白根高校通信ができたところで、中学校訪問を実施している。（ここまで２回実施）HP は実習助手の久保田さんにより頻繁に更新されている。

４　＜議事＞ 議長：川野会長

第１号議案 南アルプス市との連携について（校長より）

今年度はコロナの影響で、ほとんど交流ができなかった。１１月になり、やっと動きだすことができた。（先日、産業観光部部長、課長が来校し、話し合いを持つことができた。）

１）協力要請

・『エコパーク周辺ガイド』に生徒のアイディアを取り入れるなど、ユネスコエコパークを広める活動に協力をしていただきたい、と要望された。

・インターンシップの活用

・自然科学部の活動の継続

２）支援提案
・市内の会社工場見学 等
上記については、第４回の協議会で、さらに具体化したい。

→承認。学校におまかせしながら、進めていきたい

第２号議案 スクールポリシー・スクールミッションについて（校長より）
県より与えられたスクールミッションに基づき、スクールポリシーを設定。
グラデュエーションポリシー（卒業時に身につけさせたい力)、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーについて、資料の通りでよろしいか。

→賛成

第３号議案 その他
→なし

５　意見交換

A 委員：HP について、細かく毎日のように更新されていることに感心している。生徒の様子がよくわかり素晴らしい。９月からタブレットが導入されたという記事を見たが、授業では使用していないのか。

校長：実習助手がタイムリーに情報を更新してくれている。ほかに類を見ない。タブレット（小型のパソコン）は、３名に１台の割合で導入された。夏休み明けについて、生徒の通信環境を調査したところ、スマホしかないという家庭も多く、それで１日授業を受けさせることは難しいと判断したので、偶数奇数の分散登校とした。Wi-Fi 環境が整っていない家庭も多い。分散登校の時期には、事務の方まで総出で、厳重な体制で登校させた。

教務主任：タブレットを持ち出してよい、という状況が整っておらず、家庭へ持ち帰りができない。来年度の生徒は自分でPCを用意することになっている。今年度のタブレットの使用については、授業内での使用のみ。

教頭：職員室に予約表がある。たまたま授業参観の時間には使用がなかったが、かなり頻繁に使用されている。また、次回の管理職による授業観察の際にはICTの利用をお願いしている。

校長：数学や社会で使用していたが、スクリーンやプロジェクター、書画カメラが昨年度までに各教室に１台ずつ導入された。
B委員：白根高校は、自転車通学が多い。最近、損害賠償請求されるケースも多いが、保険などはどうなっているか。

教頭：任意ではあるが、基本的に自転車保険に入っている。特に昨年・今年は自転車事故が多く、注意喚起をしている。

６諸連絡

学校評価について：学校運営協議会委員用のシートについて、このような内容でよろしいか。
年内にアンケートを送付するので、ご協力をお願いしたい。
教務主任：（アンケート結果について）アンケートは夏休み前にとったもの。後期アンケートは１２月に実施予定。１月の頭にまとめられる。委員の皆様のアンケート結果もそこに反映します。前期アンケートについて、ご意見があればお願いしたい。

教頭：別冊資料について、各種たよりは今年度から導入した「Classi」で、モバイルで確認できる。図書室の活動なども、毎月たよりで紹介されている。雑誌・新聞報道の紹介について、特に部員不足の野球部が特集されている。

校長：１年英語授業プロジェクトSDGｓのレッスン→山梨日日新聞１５０周年の事業のなかで、２３日（火）の紙面に全面広告で掲載される予定。また山日YBSラジオに放送部の生徒が出演予定。

教頭：一堂に会する機会がなくても、ぜひ学校に足を運んでいただきたい。加藤さんにはインターンシップの発表会に来ていただいた。次回の運営協議会は、２月１５日（火）予定です。

令和３年度 山梨県立白根高等学校

第４回 学校運営協議会 議事録

１　開会のことば（教頭）

２　校長あいさつ

日頃より、本校教育活動へのご協力、またコロナ禍のなかでのご出席ありがとうございます。

新型コロナの影響により、現在分散登校が続いております。来週からの状況はまだわかりません。本校では感染防止対策に厳格に取り組んでおり、クラスターといった状況は出ておりません。今週は特編授業で対応しています。

３年生はしめくくりの時期に入りました。１１８名が卒業予定、なかでも１か年皆勤は３１名にのぼります。推薦入試、総合型入試について、大変順調に結果を出しています。難しいといわれる看護系の学校にも全員が合格しています。

１１月、１２月は修学旅行も実施され、落ち着いた学校生活が送れていました。２学期の納め式では、ステージが埋まるほどの入賞者が出ました。特にウェイトの活躍が目覚ましく、２年の金丸さん、望月さん、小林さんは全国選抜に出場します。ウェイト場の拡張工事も順調です。PTA 活動としては、１１月２５日にクリスマスケーキ講座を実施しました。２７日にはペンキ塗りを実施、駐輪場が綺麗になりました。ですが、新年になりオミクロン株の拡大とともに、新人戦が一部中止になるなどの影響があり、スキー教室も中止となりました。

この２年間、ICT 環境整備はかなり前進しました。Classi の活用、Teams を利用した SHR などを現在取り入れています。来年度からは、新入生は全員が PC を持って入学してきます。本校でも先生方へ ICT 活用を促しており、２回目の相互授業観察では ICT 機器の利用をお願いしました。今後も促進を図っていきます。

来年度から新学習指導要領が実施されます。本校ではすでにクロスカリキュラムへの取り組みに力を入れています。また、キャリア教育も充実しており、その長年の取り組みが評価され、先日文部科学大臣から表彰を受けました。

この１年間、貴重なご意見をいただきありがとうございました。本日も、来年度にむけて貴重なご意見をお願いいたします。

３ 教育活動報告（学校側説明）

１　学習支援グループ（資料最終頁参照）

１　前期募集入学許可予定者数及び後期募集の募集人員について

後期は８１名の募集のところ、現段階では８４名が出願予定です。

２　生徒支援グループ（資料Ｐ１～５参照）

１　生徒会関連行事　２部活動実績　３納め一覧　４表彰一覧

5 支援を要する生徒とその対応

支援を要する生徒については、特別支援教育委員会を４回実施することができました。スクールカウンセラーを活用しながら学校全体として対応に当たっています。

３　進路支援グループ（資料Ｐ６参照）

１　合格状況

資料中、赤字になっている「留学１」については、自力で韓国の大学に合格した生徒が該当します。国公立大学については、現在のところ県立大学に１名が合格をしています。

４　学校管理グループ（資料Ｐ７～８参照）

１ 就学支援金、奨学給付金受給者について ２ 学校施設・設備の改善について

３ PTA 活動及び地域との連携 ４ 令和３年度 PTA 事業計画

施設の改善については、格技場の改修工事、白朋館のプロジェクター設置が今年度中に完了する予定です。 PTA 行事は中止になってしまったものもありましたが、クリスマスケーキ作り、ペンキ塗りができたことは幸いでした。

２ 生徒指導グループ（資料Ｐ８～９参照）生徒指導関係年間行事 ２ 生徒指導の状況

生徒指導の状況については、今年度は自転車・原付の交通事故が増えてしまったものの、いずれも大事にはいたっていません。交通違反は０件です。

５　情報管理グループ（資料Ｐ１０参照）

広報活動について。HP はほぼ毎日更新されています。

Ｐ１１（山梨県教育委員会に対する意見）について。１月の段階で県への要望をまとめるよう要請があったので、これまでにいただいたご意見を、資料のような形でまとめました。

学校運営協議会委員のコーディネーターにあたる人については、来年度は入っていただくよう検討しています。

４ ＜議事＞ 議長：川野会長

第１号議案 学校評価アンケートおよび山梨県立学校における学校評価システムについて

（教頭より）

Ｐ１２・１３をご参照ください。Ｐ１４が点検シートと、その回答結果です。概ね高評価をいただきましたが、「わからない」の回答もあり、協議会の運営について反省しているところです。Ｐ１５は自己評価・学校関係者評価です。委員の皆様には、赤い部分（学校関係者評価）について評価をお願いしたいと思います。（郵送・メール、どちらでも）
Ｐ１６以降は委員の先生方からいただいた意見をまとめたものです。今お読みいただいて、何かご意見がありましたらお願いいたします。「3 地域との連携協力について」→今年度、コロナ禍にあってもインターンシップが実施できたことは大きな成果といえます。「４教育課程について」→見えにくい部分であり、難しい部分ではありますが、何かあればご意見をお願いします。現在、純粋な「理系」は少ない状況です。「5 生徒指導・進路指導について」→挨拶については大変良いとの評価をいただいています。一方で、バイク事故等の心配も寄せられています。「6 その他について」→アンケートの取り方について、ご意見が寄せられました。Ｐ２０・２１は、１年間のまとめのページです。このような形での報告でよろしいか

→承認

第２号議案 来年度の活動計画について

（校長より）
Ｐ２２をご覧ください。活動計画のいずれもコロナ次第といえます。実際、今年度３月に予定されている文化部発表会も、開催の可否がいまのところ不明です。感染症拡大によって、地域との連携が明らかに妨げられている現状です。

１）　総合的な探究の時間「白根プロジェクト」について昨年、今年度取り組んだ「次世代キャリア教育教材『エナジード』」については、来年度はお休みする予定です。来年度は地域に根差した探究を多く取り入れます。
今年度については、分野別職業懇談会は、来週実施予定だったものを３月に延期しました。
１年生：地域探索や防災小説へ取り組むことで、「本当に災害が起きた」際の行動に変化が生じると考えられます。
２年生：インターンシップを中心に据えた活動です。
３年生：進路を見据えた活動です。卒業前に、南アルプス市のキャッチコピーを考えさせる活動も取り入れたいと考えています。

２）　南アルプス市等、地域との連携について今年度、交通事故防止キャンペーンや書道パフォーマンス等を行ったことで、南アルプス署から感謝状をいただきました。
わかば支援学校との交流も引き続き持続していきます。
桃源郷マラソンボランティアについても、できるだけ多くの生徒に協力を呼びかけます。
「南アルプスエコパーク周辺ガイド」の編集は着々と進んでいます。いずれ皆様にもお見せできるようになると思います。
ロータリークラブとの連携も引き続き図っていきます。
市川三郷吹奏楽団については、文化部発表会での合奏ができるかどうか、今後の状況次第です。

→承認

第３号議案 その他

（議長より）
私たちの意見が県教委に届けられることになるので、何かあればどうかご意見をお願いします。

→各委員からの意見は特にありませんでした。

５ 意見交換・懇談

A 委員：このような時節で大変だと思いますが、生徒にとっては１度きりの学校生活。良い思い出を作ってあげてください。白根高校に入学、卒業してよかったと、誇りを持てるように。

B 委員：来年度の活動計画について。コロナ禍のなかでは計画を立ててきっちりやっていくことはそもそも難しい。活動をどのように学校の教育目標とリンクさせ、結果として残していくのか、それを評価するのはたいへん難しいが、PDCA サイクルをしっかり回していくことが理想ではないか。本日の授業参観では、ICT を活用している状況も見られて安心した。現状を「良い機会」ととらえて、ICT 活用については、より前に進めていくことも必要と考える。

C 委員：学校評価について。学校経営以外の部分は見えにくい部分が多く、「わからない」を選んでしまった。ただ、機会を重ねていくうちに関係もできてくる。ロータリークラブを通じて、白根の生徒とも関係ができてきている。白根の生徒はボランティア活動にも前向き。学校教育とは別に、地元への貢献といった意味で、そういった活動にも積極的に取り組んでもらいたい。

D 委員：コロナの影響で学校の状況が耳に入りづらくなっているが、学校に来る機会は多いので、生徒や先生方の様子を目にすることは多い。先生方はよく頑張ってくれており、生徒も楽しく活動できている。だからこそ、絶対的に先生の数が足りないように感じる。事務室の様子も心配。先生方や事務職員の方々のケアの必要性を感じる。ウェイトや野球部を中心によく頑張っており、イメージアップにつながっている。メディアも活用しているので、白根は楽しそうという話も耳にする。ICT については、やっていかなければいけない社会となっている。先生方にもがんばっていただきたい。

E 委員：今日は委員同士でも話ができて、繋がりができた。こういった機会を通じて、来年ますます会がよくなることを期待したい。昨年ある中学で進路対策をしていた際、「通過点でなく、高校そのもので輝いてほしい」と感じた。小中学校でも、挨拶ができる子どもを育てようとしている。小中学校で学んだことを高校でスパイラル的にさらに膨らませることができると良い。

F 委員：多くのメディアでの戦略を感じます。２学期に YBS ラジオの番組出演した白根高校生の声をきいたが、大変楽しそうだった。在校生がとても楽しんでいるように感じられた。甲府の学校にはない魅力を発信しながら、わくわくするような学校づくりを目指してほしい。

G 委員：保護者の立場から。Classi について、携帯に直接学校からの案内がくるので学校の意思が保護者に伝わりやすくなった。修学旅行についても、なんとか実施できたことは大変喜ばしい。

H 委員：今回、校長から運営協議会の相談を受けた際、やはり面と向かって話すことの大切さを感じ、開催できたことを良かったと思う。６月４日に同窓会を開会予定だったが、延期を決定した。再来年はぜひ開会したい。自分は野球部出身だが、なんとか９名集まったことが大変喜ばしい。

教務主任：いろいろなご意見をありがとうございました。コロナの影響で制限されてしまう部分もありますが、年を追うごとにコミュニティスクールとしての活動が根付いていけばと考えております。今後ともご協力をお願いします。

事務長：様々な要望を聞くなかで、できるだけ対応するようにしてきた。資料Ｐ２０、報酬の手続きについての説明。報償額は資料の通り。Ｐ２１、旅費は支給されないとあるが、これは学校評議員会の場合であり、学校運営協議会委員には支給される。（県とは確認済み。）３７円／１km を支給。今年度新たに委員となられた方々には封筒をお渡ししたので、書類を確認いただいて、手続きをお願いします。個人情報に関わるものなので、返信の際には簡易書留で手続きをお願いします。できれば３月４日までに。
教頭：１年間ありがとうございました。学校運営協議会は、県内の高校では３校しかまだ実施していません。学校評議員として外部評価をしていただく性格も持っています。小中では何校も実施されていますが、成功している学校も潰れてしまった学校もあるようです。委員の皆様には、応援団のような形で関わっていただけるとありがたい。学校としてもＥ委員が仰ったように、小中での教育がスパイラル的に高校で膨らんでいくように努力していきたいと思います。

校長：来年度に向けて闘志がわいてきました。野球部も念願の単独１チームとして立ち上がりそうな状況です。桃源郷マラソンと春季大会がぶつかってしまうが、今回は単独チームとして申し込みました。メディア戦略はかなり頑張っていますが、航空がバレーで優勝してしまったことでウェイトのインタビューやテレビ放映がダメになってしまい残念でした。今後もメディアには積極的にアプローチしていきたいと考えています。文部科学大臣からの表彰もあり、リクルートの雑誌からも取材依頼がきています。
第１次進路希望調査では厳しかった中学生の希望状況が、スクールツアーの影響からか、第２次では盛り返しました。スクールツアーは教員があまり介入せず、生徒自身が主導するような体制をとったことが、中学生にも高評価でした。その姿を見て、本校で生徒会に入って活躍したいとアンケートに書いた中学生もいました。委員の皆様には今後もどんどん来校いただいて、白根の生徒を知ってもらいたい。入試での集まり具合も回復しています。白根の応援団として、委員の皆様にはぜひ来年もお願いしたい。なお、南アルプス市観光課の職員でホッケーのコーチとしても活躍されている方に来年度、学校運営協議会委員として加わってもらう予定です。

6　諸連絡

7　閉会のことば（教頭）